

社会の実現を目指して～豊島区特別支援教育推進計画(令和4～6年度)～

有無に関わらず、互いに尊重し、共に学び、共生社会の担い手に必要な資質・能力を育ててまいります。

6年度にかけて達成を目指す目標を設定します。

推進プラン4

支援が必要な児童・生徒への指導の充実

- ①全教員の特別支援教育の視点での指導方法の改善
- ②特別支援教育コーディネーターの資質の向上
- ③特別支援教室の巡回指導教員・特別支援教室専門員の専門性の向上
- ④特別支援学級 教員の専門性の向上

推進プラン5

多様な教育環境の整備

- ①特別支援教室の充実
- ②特別支援学級(知的障害)の充実
- ③特別支援学級(自閉症・情緒障害)の充実
- ④通級指導学級(難聴学級・言語障害学級)の充実
- ⑤医療的ケア児への支援の充実

推進プラン6

地域や関係機関と連携した支援体制の推進

- ①地域の相談支援機関等との連携
- ②保護者や地域に対する理解啓発



② 特別支援学級・特別支援教室での取組

特別支援学級・特別支援教室に通う子供たちが、将来、社会とつながり、生活できるよう、学校での学習内容や必要な支援などを充実していきます。

希望する進路の実現

- 将来、高校・大学などで学んだり、会社で働いたりするために必要な力を身に付ける学習を充実します。



困難さを抱えた子供への支援

- 友達との会話など、苦手だと感じていることができるようになる学習を充実します。
- 自分のクラスで友達と一緒に学べるように支援していきます。



④ 特別支援教育を進める体制づくり

先生一人一人がユニバーサルデザインの視点で教える力を高めて、学校に関わる全ての人たちで、障害のある子供たちを支援していきます。



先生の教える力の向上

- 小学校や中学校の先生が、特別支援学級や特別支援教室で、障害のある子供に教える力を高めます。
- 全ての先生が、障害のあるなしに関わらず、子供たちに分かりやすい授業を行えるよう、教える力を高めます。

医療的ケアが必要な子供への支援

- 学校の先生と看護師などが協力し、子供が安心して学校で学習できるようにします。



西巣鴨小学校

第2学年 体育科「にしすっ子どうじょう」

令和4年3月に完成したインクルーシブ遊具等を使った授業を行いました。

通常級の児童が特別支援学級の児童と一緒に、遊具等を活用した動き(止まる、逆さ、ぶら下がる、揺れる、移動、跳ぶ)の工夫を考えました。「誰でも楽しめる動きを考える」ことをめあてとして、グループごとに考え、友達のよい動きを見付けたり、考えたことを友達に伝えたりして、遊びながら体を動かす楽しさを実感しました。

巣鴨北中学校

第3学年 保健体育科「オリパラを学ぼう」

土曜授業公開において、ボッチャの体験授業を実施しました。

試合では、グループごとに作戦を立て、アドバイス合いながらゲームを進める姿が見られました。

性別・年齢・障害に関わらず誰もが楽しめるスポーツであること、体力や技術の向上だけでなく、作戦を練っていくことで感動や面白さを共有できることを学びました。また、他のパラスポーツへの興味・関心を高めることができました。

